会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（松風台自治会）
2　日時	平成30年9月2日（日）13：30～14：45
3　場所	松風台自治会館
4　出席者	（資源循環課）森岡担当主査 （環境事業センター）尾坂主幹、関原主査、田中技能労務統括主査 （松風台自治会）参加人数：24人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化は資源物も含めたごみ全体を対象とするか。戸別収集も含めて、ごみの範囲について教えて欲しい。 →有料化を導入しているほとんどの自治体が、燃やせるごみと燃やせないごみを有料化の対象としているため、茅ヶ崎市がごみを有料化するとなれば、同様に燃やせるごみと燃やせないごみが対象となり、資源物は対象としないことを想定している。戸別収集も、すべてのごみを対象とはせず、燃やせるごみと燃やせないごみを対象として検討している。藤沢市においては、燃やせるごみなどから戸別収集を導入し、段階的に対象品目を拡大していった経緯があるため、すべての品目に対して同時に戸別収集を導入することは現実的ではないと考えている。 ●有料化と戸別収集を導入すると受け取って良いか。 →有料化も戸別収集も現段階では、その導入が決まったものではなく、検討している状況にある。 ●今後もアンケートなどで市民の声を聴取するか。 →本日の意見交換会終了後に、アンケートのご提出をお願いしているが、今後も、アンケート手法とは限らないが、意見交換会など、何かしらの方法で皆さまからのご意見を賜りたいと考えている。 ●今でも、集積場所には、毎収集時、不適正なごみが残されている現状がある。有料化となった場合にも、そのようなごみが出ることが想定されるが、その対応は誰が行うか。戸別収集を導入したとしても、それらが解決できるとは思えない。 →自治会内にあるごみ集積場所で、不適正排出が後を絶たないことは承知している。不適正排出には、啓発シールを貼り、その場所に残しているが、この手法についてはご理解をいただきたい。ただ、衛生上などの問題がある場合は、環境事業センターで収集しているので、都度ご連絡をいただきたい。有料化となった場合でも、同様な対応を想定している。ごみの分別の案内が十分に行き届いていないことは、課題として捉えているが、決め手がないのも現状である。 ●ひとり暮らしのお年寄りのごみ出しが大変な実情がある。戸別収集をお願いするこ

	とはできないか。 →環境事業センターでは、高齢者や障害者などを対象として、安心まごころ収集を実施している。一定の要件を満たせば、利用が可能であり、安否確認も含め、ごみの戸別収集を行っている。安心まごころ収集は無料なので、要件は必要ではあるが、是非、ご利用いただきたい。 ●要介護ではなく要支援な状況であり、パーキンソン病を患っているが、利用は可能か。 →まずは、環境事業センターまでご相談いただきたい。 ●他市における戸別収集時のカラス対策などについて教えていただきたい。 →戸別収集になっても、カラスやネコの被害がなくなるものではない。藤沢市は、戸別収集を行なっているが、各家庭での鳥獣対策をお願いしている現状である。具体的には、ふた付きのポリバケツやネットを利用したり、バケツを被せたりしてごみを出すようにお願いをしている。茅ヶ崎市においても、戸別収集を導入するとなれば、鳥獣対策についても周知を行なう必要があると考えている。 以上